

# 総務産業常任委員会会議録

- 1 日 時 令和7年6月18日（水）  
12時59分開会 13時10分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 川上 均、橋本晃明、山本奈央、桜井崇裕、佐藤幸一、西山輝和  
議 長：山下清美
- 4 説明員 なし
- 4 事務局 事務局次長兼総務係長：宇都宮 学
- 5 議 件  
(1) 所管事務調査の申し出事項について  
(2) その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 12 : 59】

(1) 所管事務調査の申し出事項について

委員長（川上 均）：只今より総務産業常任委員会を開会する。議件については所管事務調査の申し出についてである。9月定例会までの所管事務調査の調査について、前回に引き続き、申し出事項について協議をしたいと思う。皆さんに考えていただきたいということでお話をしたが、特に皆さんのほうから、これについてやりたいというようなご要望等があれば今出していただきたいと思う。いかがか。

橋本委員：前回出た中で、例えば上下水道の老朽化対策というか。たまたま今、無料化になっているが。十勝管内、特に帯広市でも水道料金を上げざるをえないだろうということでも検討しているような、各町村も同じ課題だと思うが、そういったものがあるのと。前は、それよりもバイオガспラントを身に行くということになった。農業関係で言えば、後継者対策とか担い手対策の部分、特に今どんな状況なのかということとか、あとは外国人労働者の現状実態はどうなっているのかということ、その中で、町として、どういう政策を取れるのか。そういったこともあるのかなと思う。

委員長：今、上下水道の関係と、農業担い手、そして外国人の関係の意見が出た。

桜井委員：昨日の全員協議会で、町のほうから人口ビジョン・総合戦略を説明いただいた中で、所管の中で、やはりこの農業関係の担い手対策事業、それはコーディネーターを含めてかなり見直しが必要だという項目が、新規就農も含め、後継者の結婚の問題とか、継承の問題とか、実習生の問題とかいろいろ含んだ中で、その見直し部分が現状どうなのか、ある程度議会として所管として提言できるものがあるのか、現状どんな町の見直しが必要だという部分。我々にしたら随分心配な部分でもあるので、そのようなことである。

委員長：今、農業の担い手の見直しの必要性についてと、その内容について調査をしたらどうかという意見が出た。ほかに意見はあるか。

西山委員：今言われたように人口ビジョンの見直しの部分、その辺、橋本委員も言われていたように担い手の部分とかそういうものを一緒にやったらいいかなと思う。

委員長：農業の担い手ということで意見が出た。ほかに意見はあるか。

佐藤委員：政務活動費、清水町では利用がないと思うが、他町議員の活動費の利用状況につい

て調べてみたいと思う。それと、今富良野、新得間の鉄道が廃止にになって、新得駅  
のその利用状況はどれぐらいなのか、下手をしたら十勝清水駅がなくなったら困るな  
と思い、それを調べてみたいなと思った。

委員長：只今、政務活動費の実態とあわせて、清水のＪＲ十勝清水駅の存続も含めたことで、  
新得駅の状況を調べてはという意見があった。ほかに意見はあるか。

山本委員：農業の後継者、担い手対策について、所管事務調査をしてはどうかと思う。それと、  
これはどうかなと思ったのは、ふるさと納税について、企業版ふるさと納税につい  
てと、あと道の駅、なかなか成功例はないのだと伺ってはいるが現状どうなのか、  
うちの町に合うのかどうかというのを検討する材料になるので調べてはどうかと思  
う。

委員長：農業の担い手の関係と、ふるさと納税、特に企業版、そして道の駅について、いずれ  
にしてもふるさと納税や道の駅は今後の話なので、今そこまで踏み込むかどうかと  
いうのはちょっとどうなのかなと思うが、多く今出されたのは、農業の担い手の部  
分を今後人口ビジョンの中で見直す必要ということが出ているので、所管として調  
査してはどうかというお話がやはり多かったと思う。そういう部分で担い手の部分  
について今回調査してやってみみたいと思うがいかがか。

（「よろしい」との声あり）

委員長：９月までには農業者の担い手について調査したいが、調査項目はどう表現したらよい  
か。「清水町農業の担い手確保について」でよろしいか。

（「よろしい」との声あり）

委員長：「清水町農業の担い手確保について」を所管事務調査項目とする。調査内容について  
意見等があれば。

桜井：コーディネーターを置いて力を入れてやるということなのだけど。そして新たにコーデ  
ィネーターも変わってまた常駐してもらって、新たに違うことをやるのかどうかわ  
からないけども、進める上でどのように考えるか、どういうふうにやろうとしてい  
るのかということである。

委員長：他の町村を調べてみるとかそういうことはどう、どうか。

桜井委員：担当の農林課などと、もうちょっと相談しながら、優良事例があるのであればとい

うことで、目的が合わなければ別に行かなければならないものではないので。

委員長：もし、いい優良事例があればそれも含めて。中身はこれからの議論として、テーマとしては「清水町農業の担い手確保について」を行いたいと思う。続いて、今まで9月初めに、清水町の営農対策協議会いわゆる町や農協、農業委員会、普及センターがやっていた合同作況調査があるで、例年通り、農作物の生育状況についての申し出を行う。その他で、突発的な事項に対応するため、その他所管に関する事項についての申し出も行っていきたいと思いますということでよろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：そういうことで進めていきたいと思うので、よろしくお願いします。次回はどのような進め方で考えたらいいか。農林課も含めて日程を調整し、あと事務局と委員長のほうで、日程調整を進めながら日程を決めていきたいと思いますので、そういうことでよろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：そのような形で進めたいと思います。

（２）その他

委員長：その他について何かあるか。

（「なし」との声あり）

委員長：これをもって本日の総務産業常任委員会を閉じたいと思う。大変ありがとうございました。

【閉会 １３：１０】